

I 自己評価

| | | | |
|-------------|--|---|---|
| 1 学校教育目標 | 社会的・職業的自立に向けた基礎となる資質や能力を培い、知・徳・体の調和のとれた心豊かな地域社会人を育成します。 | | |
| 2 スクール・ポリシー | 『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP) | 『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP) | 『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP) |
| | <ul style="list-style-type: none"> 自己の適性を理解し、自らの将来をデザインし、自己実現に向けて自発的に行動できる生徒 多様な人々と協調性をもって豊かな人間関係を築き、他者と協力して課題解決に取り組める生徒 地域との関わりを大切にし、地域の課題を発見し、地域の持続的な発展に貢献できる生徒 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の個性や能力を开花させ、将来の進路目標を実現するためのカリキュラムの編成とICT活用などによる分かりやすく個に応じた指導の実施 「探究的な学び」や教科学習、対話的な学びによる、コミュニケーション能力と自己表現力の育成 長く広い視野で自分の住む地域のことを考える心を育む教育活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 学習活動、部活動、生徒会活動などを通じて、自らの可能性に挑戦したい生徒 人との関わりやつながりを大切にし、仲間と協力しながら主体的に学びたい生徒 地域活動やボランティア活動などに主体的に参加し、地域社会で活躍したいという意欲のある生徒 |

| | |
|--------------------------------|---|
| 3 評価する領域・分野 | ◇進路指導 |
| 4 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等 | <p>○学校評価アンケート（保護者用）では、【R4 → R5】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている。（保護者）AB割合89→91 CD割合 4→3 学校は生徒の進路希望に沿った適切なアドバイスをしている。（保護者）AB割合92→92 CD割合 3→2 <p>○学校評価アンケート（生徒用）では、</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校では、生徒に適した進路情報を示し、生徒の可能性を引き出すとしている。（生徒）AB割合88→92 CD割合 5→2 本校では、生徒の将来の希望に沿った具体的な進路指導が行われている。（生徒）AB割合89→92 CD割合 3→1 <p>*昨年度に引き続き高評価をいただいた。インターンシップや市と連携した企業見学など、多くの進路行事を通して十分な進路情報が提供できたことが評価されていると考えられる。</p> |
| 5 今年度の具体的かつ明確な重点目標 | <p>◇社会的・職業的自立を促すキャリア教育を推進し、生徒自ら進路実現を成し遂げようとする意欲や姿勢を持った人材を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①個々の生徒の特性等を的確に把握し、入学時から計画的・継続的で組織的な進路支援ならびにキャリア教育を推進する。 ②生徒自らの在り方生き方を考え、主体的に進路を選択決定できる能力を育てる。 ③個々の幅広い進路に応じて、適切な情報提供や進路相談の充実に努める。 ④地域社会の発展に貢献でき、活躍できる必要な学力をつけるよう努める。 ⑤学校、家庭、地域との連携を図り、生徒の健全育成に努める。 |
| 6 重点目標を達成するための校内における組織体制 | <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育については、1年次では科目「産業社会と人間」、2・3年次では科目「総合的な探究の時間」を中心に取り組み、企画・運営を学年団と進路支援部で連携して推進する。 県より配置された「地域創生キャリアプランナー」と連携して、年間を通して計画的に活用する。 各年次に進路支援部に所属している職員を配置して、双方向に生徒に関しての情報交換を行う。 |

| | | |
|--|--|--|
| <p>7 目標の達成に必要な具体的な取組</p> <p>①学力の向上 基礎学力の向上と自ら進路実現ができるような学力をつける。</p> <p>②資質、マナーの向上 望ましい勤労観・職業観を形成させ、基本的なビジネスマナーを身に付ける。</p> <p>③指導内容、指導体制の充実・改善 計画的・組織的な指導体制を充実させ、外部との連携を強める。</p> | <p>8 達成度の判断・判定基準あるいは指標</p> <p>①基礎力診断テストの成績と記述式テストの成績 ②進路行事の感想や自己評価による達成度の診断 ③外部関係者からの評価やアンケート結果 ④キャリア面談による進路意識の変化 ⑤希望進路の達成状況</p> | |
| <p>9 取組状況・実践内容等</p> <p>①基礎力診断テストを2回実施して、学力の進捗状況を確認した。</p> <p>②多くの説明会やガイダンスなど進路行事を実施した。インターンシップやデュアル実習などの取り組みが、内定につながった生徒もいた。</p> <p>③企業や上級学校の情報収集を行い、共通認識の形成を図った。</p> | <p>10 評価視点</p> <p>①基礎学力が定着し学力を伸ばすことができたか ②進路行事の企画は効果があったか。 ③進路情報を生徒に還元できたか。</p> | <p>11 評価</p> <p>① <input checked="" type="radio"/> A B C D ② <input checked="" type="radio"/> A B C D ③ A <input checked="" type="radio"/> B C D</p> |
| <p>12 成果・課題</p> <p>○本校職員のきめ細かな指導が、生徒の進路先に反映された。</p> <p>○就職希望者については担任団のきめ細やかな指導の成果もあり、全員が希望企業に内定した。</p> <p>○進学希望者については先生方の教科指導や小論文指導により、全員が希望の学校に合格した。</p> <p>▲進路行事の内容が重複するものがあり、やや過剰とみられる部分があった。有効なものを選別して実施する必要がある。</p> <p>▲難度の高い志望先に挑戦する意識を醸成できていない。</p> <p>▲進学系列に導入したスタディサプリの利用状況が良くなかった。</p> | <p>総合評価</p> <p>A <input checked="" type="radio"/> B C D</p> | |
| <p>13 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路行事の大幅な改編を行うので、指導効果について注視しながら実施する。 ・地元企業の良さを引き続き紹介する。 ・到達度テストを利用し、生徒が自主的にスタディサプリを活用できるようにする。 | | |

II 学校関係者評価

実施年月日：令和6年1月24日

【意見・要望・評価等】

- ・進学指導、就職指導が充実していて、成果も上がっており、高く評価できる。今後も人間力を高める教育を含め、充実した指導を継続してほしい。
- ・デュアルシステム、インターンシップ等の取組は素晴らしい取組だ。進路指導に対する評価が高くなっているのにはデュアルシステム導入も影響があるのではないかと感じる。
- ・進学系列対象のスタディサプリの利用が少なかった理由を探り、より充実した活用につながるようにしてほしい。